

# 外科

## 【一般目標（GIO）】

全人的医療をチーム医療として行うために必要な外科的知識、技能、態度を習得する

## 【行動目標（SBOs）】

- ① 系統的問診法による正確で十分な病歴聴取ができる
- ② 視・触診を正しく行うことができ、正確に所見を記載できる
- ③ 一般検査（血液・尿）、各種放射線検査を理解し、オーダーでき、結果を判断できる
- ④ 消化管透視検査、超音波検査、内視鏡検査を理解し、読影できる
- ⑤ 静脈ラインが確保でき、点滴の指示が正しく出せる
- ⑥ 気道確保、心肺蘇生法、胸腔穿刺・腹腔穿刺の適応を理解し、指導のもと正しく行える
- ⑦ ショック（出血性・心原性・敗血症性など）を診断し、対処できる
- ⑧ 手術適応を判断し、術式の決定を述べることができる
- ⑨ 各種麻酔法を理解し、指導者のもと麻酔を行える
- ⑩ 手術後の創処置、点滴、抗生剤、鎮痛剤使用、呼吸循環管理を理解し正しく指示が出せる
- ⑪ 各種チューブの留置理由を理解し、管理できる
- ⑫ 清潔、不潔の区別ができ、切開・縫合・止血など基本的な外科手術手技ができる
- ⑬ 一般外科手術（虫垂炎、ヘルニア）の助手ができ、指導のもと行える
- ⑭ 消化器手術、乳腺・甲状腺手術の助手ができる
- ⑮ 終末期患者の全身状態、疼痛を正しく理解し、適切に対処できる
- ⑯ コメディカルの役割を理解し、チームとして患者に対応できる

## 【研修方略（LS）】

- ① 病棟、救急外来、手術室での実務研修（On-the-Job Training：OJT）を行なう
- ② 指導医・主治医の指導の下、患者の診察や治療計画に参加する
- ③ 指導医・主治医の指導の下、手術研修を行う
- ④ 各種検査の見学・介助を行ない、手技の理解や結果の解釈を行なう
- ⑤ 各種のカンファレンスに参加する
- ⑥ 図書、インターネットを利用し、疾患、治療に関する資料を収集する

## 【研修評価 (Ev)】

- ① 自己評価：外科研修修了時に評価表による評価
- ② 指導医による評価：各科研修修了時に評価表による評価

## 【代表的経験疾患】

急性虫垂炎・鼠径ヘルニア・痔疾患  
 胃癌・大腸癌・胆石症・胆嚢炎・腸閉塞・腹膜炎  
 乳癌・甲状腺腫瘍  
 気胸（自然・外傷性）

## 【週間スケジュール】 【外科】

	AM	PM	カンファレンス
月	抄読会 回診 / 病棟業務 手術 / 麻酔管理※	病棟業務 手術 / 麻酔管理	
火	回診 / 病棟業務 手術 / 麻酔管理	病棟業務 手術 / 麻酔管理	
水	回診 / 病棟業務 手術 / 麻酔管理	病棟業務 手術 / 麻酔管理	
木	回診 / 病棟業務 手術 / 麻酔管理	病棟業務 手術 / 麻酔管理	PM：合同カンファレンス 手術症例・病棟カンファレンス
金	回診 / 病棟業務 手術 / 麻酔管理	病棟業務 手術 / 麻酔管理	
※ 麻酔科を外科研習ローテーション中に4週間程度ローテートします。			